



令和7年11月25日

公益社団法人 日本精神科病院協会 御中

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター

医療機関のサイバー対策ガイド本の出版およびシンポジウム開催について

大阪急性期・総合医療センターでは、2022年10月にランサムウェア攻撃を受け、約2か月に渡り、救急や外来および入院の受入れ制限を余儀なくされました。その間、紙カルテ運用に切り替え、入院患者への医療継続と、80システムにも上る医療情報システムの再構築という、前代未聞の難事に取り組むこととなりました。

この度、すべての医療機関関係者および医療情報システム担当者を対象に、当時の取組みや対応について、ガイド本として取り纏め出版しましたので、別紙1のとおり案内します。

あわせて、書籍出版を記念して、医療情報サイバーセキュリティに係るシンポジウムを開催しますので、別紙2のとおり案内します。

本シンポジウムでは、病院経営者、病院医療従事者、病院情報システム担当者を対象に、午前のセッションでは医療継続の実際から病院経営への影響について、午後のセッションでは実際にサイバー被害に遭った自治体病院のシステム担当者によるパネルディスカッションや、サイバー被害に遭った病院でのその後の取り組みや対策といったテーマで講演等を行います。関係各所へご周知いただければ幸いです。

(問い合わせ先)

地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター
事務局 栗倉、楠元
電話 06-6692-1201(代)

MAIL : ogmc-itbcp-event@gh2.opho.jp

同封の各種案内や掲示物のデータが必要な場合は、上記メール宛にご連絡ください。メールで返送します。



<https://forms.office.com/r/qVPKa7sAEj?origin=lprLink>

(参加申込は上記QRコードから)

別紙1 出版物について

(1) タイトル 「医療機関のサイバー対策」

(2) 出版物の内容

実際にサイバー攻撃を受けた大阪急性期・総合医療センターの事例をもとに、病院経営層、医療情報部門、医療スタッフなど、多職種による対応策を多角的に解説。IT-BCP構築の基本から、院内教育、訓練方法まで、すぐに実践できる知識とノウハウを惜しみなく提供。現場担当者とセキュリティ専門家によるQ&Aや、すぐに使えるツール

(ダウンロード可)も収録し、「何から始めるべきか」がわかる、医療現場のための実践書。

(3) 著者・その他

大阪急性期・総合医療センター 編著

一般社団法人ソフトウェア協会 監修

出版社：株式会社メディカ出版

販売開始日：11月7日（金）

（定価税込：3,960円）（体裁：B5判・208頁）



目次

●はじめに

○第1部 事例で学ぶ 医療機関のサイバー攻撃の現実

　　第1章 事例紹介：サイバー攻撃と患者を守るために戦い

　　第2章 事例解説：得られた教訓と改善点

○第2部 医療機関のサイバーセキュリティとIT-BCP

　　第1章 病院管理者が知るべきサイバーセキュリティの基本

　　第2章 サイバー攻撃発生時の緊急対応マニュアル

　　第3章 外部専門家からみた国内の現状と課題

●資料紹介：実践ツール（ダウンロード）

　　1. これだけはやっておきたいチェックリスト

　　2. 厚生労働省ガイドライン 重要チェックリスト

URL <https://www.gh.opho.jp/news/cyberbook>

別紙2 シンポジウムについて

医療機関における情報セキュリティ強化とDX推進に係る連携・協力に関する協定事業

医療情報サイバーセキュリティシンポジウム プログラム

日時 令和7年12月25日(木)

開催方式ハイブリッド形式(会場受講・ライブ配信)

会場 大阪急性期・総合医療センター 本館3階講堂(大阪市住吉区万代東3-1-56)

配信方法 Microsoft Teams ウェビナー

主催 大阪急性期・総合医療センター、一般社団法人ソフトウェア協会、日本マイクロソフト株式会社

<https://forms.office.com/r/qVPKa7sAEj?origin=lprLink>

参加申込



【プログラム予定】

時間	演題・講師等(敬称略)
10:00	■開会挨拶 嶋津 岳士 大阪急性期・総合医療センター 総長
セッション1	■テーマ: 病院経営とIT-BCP
10:10-12:00	①基調講演: サイバー攻撃と医療経営 講師: 岩瀬 和裕; 大阪急性期・総合医療センター 病院長 ②講演2: システム災害対応と医療継続のIT-BCP 講師: 藤見 聰; 大阪急性期・総合医療センター 救急診療科主任部長 ③講演3: システム障害における看護管理の実際 講師: 村井 正美; 大阪急性期・総合医療センター 看護部長 質疑応答
12:00-13:00	お昼休憩 (研修動画上映)
セッション2	■テーマ: 病院医療情報システムにおける課題
13:00-14:20	パネルディスカッション パネラー: 森川 公彦; 岡山県精神科医療センター 事務部 課長 山本 高也; 徳島県つるぎ町立半田病院 システム管理課 課長 上野山 亮; 大阪急性期・総合医療センター 情報企画室リーダー ^{モデレーター} : 須藤 龍也; 日本経済新聞社 編集委員
14:20-14:30	休憩
セッション3	■テーマ: 病院医療情報システムの安全確保① ①講演3: 大阪急性期・総合医療センターにおけるサイバー防御の取り組み 講師: 森田 孝; 大阪急性期・総合医療センター 医療情報部長、心臓内科部長
14:30-15:50	②講演4: ランサムウェアチェックシートの活用 講師: 板東 直樹; 一般社団法人ソフトウェア協会 フェロー、上席研究員
15:50-16:00	休憩
セッション4	■テーマ: 病院医療情報システムの安全確保② 特別講演: 岡山県精神科医療センターにおける医療情報安全の取り組み 講師: 岡山県精神科医療センター 院長 来住 由樹
16:50-17:00	■閉会挨拶 (調整中) 日本マイクロソフト株式会社

URL <https://www.gh.opho.jp/news/symposium>